

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年08月21日

計画の名称	姫路市における安全・安心な公園づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成29年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	姫路市												
計画の目標	公園・緑地は都市のオープンスペースとして住民の憩いの場、子供の遊び場を提供するだけでなく、災害時には避難場所、救援活動、緊急物資集積分配拠点等に活用され都市における安全・安心に大きな役割を果たしている。県の広域防災拠点にも位置づけられている手柄山中央公園の機能向上を図り、安全・安心な公園づくりを進める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	62	A	62	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H29末)
1	手柄校区における災害時に避難可能となる人数を164,180人（H29当初）から164,770人（H29末）に増加させる。 手柄校区における避難可能人数を計測する。	164180人	人	164770人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
姫路市において目標の達成状況と指標の達成状況を確認。	令和元年 8 月
	公表の方法
	姫路市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公園事業の内、園路・広場等の整備にかかる一部用地の取得及び施設整備ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画は、基幹事業が未完了であったこともあり、指標は目標未達であったが、平成30年度より、新たな社会資本総合整備計画「姫路市手柄山中央公園周辺地区の賑わいづくり」において、引き続き実施することとしており、今後においては、新たな指標を設定し、事業効果の発現及び指標の達成を図っていきたい。	

